

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 戦没者追悼式関係経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称						
章	6	担いあうまちづくり						
節	9							
施策	9							
小分類	9							
主要な施策	9							
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>69999001</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>昭和 4 6 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	69999001	事業開始年度	昭和 4 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	69999001	事業開始年度	昭和 4 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	戦没者追悼式関係経費
------	------	------------	------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 戦没者及び戦没者遺族を慰め追悼する。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて戦没者遺族をはじめ関係者の参列のもと市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し、平和を祈念する。
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 戦争という悲惨な事態を後世に語り継ぎ、二度と惨禍の起こることのない平和な社会を維持する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標		人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	80				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	415	415	473	473	473	1,419
合 計			415	415	473	473	473	1,419
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	531	545			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		531	545			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 戦没者の霊を慰め追悼し、平和を誓う重要な行事であり、国や道を始め全国の市町村においても実施しており妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 戦没者の高齢化が進んでおり、参加者が減少傾向にあるが、戦没者遺族が参加し、平和な社会を維持する大切さを啓蒙することができた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 一般市民の参加を呼びかけるとともに、平和を祈念する行事を同時開催することにより成果を向上させることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 式典の規模や会場などの見直しを検討したが、会場を市民会館大ホールから2階の中ホールへ移し、祭壇など縮小した場合、2回へ祭壇作成用の花を運搬することに経費が嵩んでしまうことから現状として経費を削減することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	式典については、実施する必要があると考えるが、規模や会場などについて引き続き検討する。 今後においては、会場を市民会館ではなく他の場所へ移した場合の経費や実際に行えるかなど、規模の縮小・経費の節減の見直しに努める。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）